

本校の教育目標

○よく考えてやりぬこう ○なかよく助け合おう ○つよい心と体をつくろう

本校の道徳教育の重点目標
人とのかかわりを深めていく中で、判断力や共によりよく生きようとする心情や態度を育てる。

児童の課題
○自己肯定感
○善悪の区別
○他者理解、信頼関係の構築

教師の願い
○自分の考えをもてる子
○わかる、できるを実感し、相手に伝えられる子

保護者・地域の願い
社会の要請

目指す児童像					
第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
自分の思いや考えを相手に伝える子。	自分の思いや考えをもち、相手に伝え合う子。	自分の思いや考えを伝え、友達の思いや考えを受け止められる子。	自分の思いや考えをもち、お互いのよさを認め合える子。	友達のことを思いやり、仲間と喜びを分かち合える子	誰に対しても、思いやりをもち、お互いのよさを認め合うとともに、自分の思いや考えに生かせる子。

研究主題
自ら進んで考え、判断して、よりよく生きようとする児童の育成
— 「特別の教科 道徳」における主体的・対話的で深い学びを通して —

研究仮説
「特別の教科 道徳」の学習を通して、主体的・対話的で深い学びを実践すれば、自ら進んで考え、判断して、道徳的な実践意欲や態度を高める子供が育つであろう。

研究の視点

「主体的な学び」に導くために

「対話的な学び」に導くために

「深い学び」に導くために

- ・ 発問
- ・ 学習活動
- ・ 指導形態
- ・ ワークシート